いみず 市議会だより

Imizu City Congress News

No.73

令和６年２月１日発行

●発行／射水市議会　●編集／広報委員会

〒939-0294 富山県射水市新開発410番地１
TEL(0766)51-6610　FAX(0766)51-6645
E-mail gikai@city.imizu.lg.jp

▲子ども議会の様子

令和６年能登半島地震により被災された皆さまに
衷心よりお見舞い申し上げます

射水市議会議員一同

市議会のうごき

11月

6日　議会運営委員会
17日　議会運営委員会、全員協議会
20日　議会改革特別委員会専門部会

【臨時会】
24日　議会運営委員会、本会議、総務文教常任委員会、予算特別委員会
27日　議会運営委員会、全員協議会

12月

【定例会】
4日　議会運営委員会、本会議、全員協議会
8日　本会議（代表質問）、議会運営委員会、広報委員会
11日　本会議（一般質問）
12日　本会議（一般質問）、予算特別委員会、広報委員会
13日　総務文教常任委員会
14日　民生病院常任委員会
15日　産業建設常任委員会
18日　港湾振興特別委員会、議会改革特別委員会、議会運営委員会
20日　予算特別委員会
21日　予算特別委員会、全員協議会、議会運営委員会
22日　本会議、議会運営委員会

1月

18日　議会改革特別委員会専門部会
19日　広報委員会
22日　議員懇談会
26日　議会運営委員会

中村文隆議長、山崎晋次副議長を選出

11月24日に開催した臨時会において、議長に中村文隆議員、副議長に山崎晋次議員を選出しました。
また、常任委員会等の委員を変更し、それぞれ新しい委員長、副委員長を選出しました。
（新しい委員会構成は、12ページをご覧ください。）

就任ごあいさつ

令和6年能登半島地震で犠牲となられた方々に深く哀悼の意を表するとともに、被災された方々に心よりお見舞い申し上げます。また、被災地における救命・救助活動、支援活動等にご尽力されている方々に深く敬意を表しますとともに、一日も早い復旧・復興のため、本市議会としても尽力してまいります。

さて、昨年11月臨時会におきまして、射水市第19代目の議長並びに副議長に就任させていただきました。身に余る光栄であるとともに、その重責に身の引き締まる思いであります。

今、社会の変化が指数関数的に早まり、市民ニーズや地域課題が多様化・複雑化する中にあって、市民の様々な意見を反映しながら合意形成を行う場である議会の役割は、ますます重要となっています。一方で、議会や議員を取り巻く環境も大きく変化し、全国的にも議員のなり手不足が深刻な問題となっています。この議員のなり手不足の一因としては、住民にとって、議会や議員がどのような活動を行っているのか分かりにくく、その活動内容をよく知らないために、ますます議会に対する理解や関心が得られていないという課題があると考えられています。これまで本市議会では、議会活動の透明性や議会改革の推進、積極的な情報公開など、「より開かれた議会」を目指すとともに、市民の皆様の負託にお応えできるように、市政の推進と議会の円滑な運営に努めてまいりました。さらには、議会報告会において、市議会の取組についての報告や意見交換を行ってきたほか、市内の小学校6年生全員を対象とした「子ども議会」を通じて、将来の射水市を担う子どもたちに向けた主権者教育も実施するなど、市民の皆さまの身近な議会となるよう取り組んできたところです。

今後においても、議会改革をはじめとする不断の取組を着実に実行するとともに、時代に即した射水市議会としての議会力をしっかりと高めていけるよう努めてまいります。加えて、本市の喫緊の課題である、エネルギー価格等の物価高騰対策や新型コロナウイルス感染症防止対策、少子高齢化・人口減少対策、行財政改革、DX・GXの推進等多くの課題に真摯に取り組むとともに、第3次射水市総合計画に基づき、市民の皆さまが夢と希望を持てる地域社会の実現を目指し、各種施策が着実に推進されるよう、当局とともに鋭意取り組んでまいります。「市民に開かれた信頼される議会」を目指して、全議員が一丸となって、誠心誠意努めてまいりますので、関係各位の変わらぬご指導とご協力を賜りますよう、心からお願い申し上げます。

中村 文隆
議長

山崎 晋次
副議長

11月臨時会

《会 期》11月24日／1日間

議決結果一覧表

[議　案]

番号	件名	結果
第54号	令和5年度射水市一般会計補正予算（第5号）	可決
第55号	射水市職員の給与に関する条例の一部改正について	可決

[報　告]

番号	件名	結果
第15号	専決処分の報告について	－

[同　意]

番号	件名	結果
第1～25号	農業委員会委員の任命について	同意
第26号	監査委員の選任について	中川一夫 同意

[議員提出議案]

番号	件名	結果
第4号	射水市議会委員会条例の一部改正について	可決

[選　挙]

番号	件名	結果
第2号	議長の選挙	中村文隆 当選
第3号	副議長の選挙	山崎晋次 当選
第4号	富山県後期高齢者医療広域連合議会議員の補欠選挙	中村文隆 当選

※ 11月臨時会は、全ての議案等が全会一致で可決されたため、議員別賛否一覧の掲載はありません。

代表質問

【自民射水の会】
高橋　久和 議員

1. 新年度予算における少子化対策・子育て支援策について
2. 児童・生徒の体力・運動機能の向上と健康について
3. 射水市高齢者保健福祉計画・第９期介護保険事業計画について
4. 機械除雪について

問①▶ 新年度予算における少子化対策・子育て支援策について伺う。

答①▶ 当初予算編成では、他市に先駆けて実施した18歳までの医療費助成や子ども子育て総合支援センターの設置による相談体制の充実など、これまで進めてきた支援策の着実な推進を図るとともに、子ども・子育て支援を予算要求の特別枠と位置付け、予算の重点配分に努めていく。

問②▶ 児童・生徒の体力・運動機能の向上と健康について伺う。

答②▶ 幼少期の子どもたちの運動習慣は、大人の意識や行動が大きく影響するものと考える。今後も、各学校での取組を充実させるとともに、地域やスポーツ団体等の皆さんと連携しながら、運動機会の拡大を推進し、子どもたちの体力・運動能力の向上を図っていく。

問③▶ 第９期介護保険事業計画における１号保険料について、見解を伺う。

答③▶ 第９期介護保険料は、第８期財政調整基金を活用し、できるだけ上げ幅を抑制して被保険者の負担軽減を図るとともに、国が示す見直しの考え方を念頭に、低所得者の保険料の更なる軽減を含め、より適切な在り方について検討していく。

問④▶ 機械除雪に関し、積雪センサーや道路監視カメラを増設すべきと考えるが、見解を伺う。

答④▶ 積雪センサーなどのIoTを活用してリアルタイムに情報を得ることは、より効果的な除雪対応を図る上でも重要なことと認識しており、積雪量や道路状況等、情報の精度を高めるためにも、積雪センサーや道路監視カメラの増設について検討していく。

その他の質問

- ●第３次射水市総合計画のスタートを踏まえた市長の思いについて
- ●「アイタウン」の開業から考えられる「射水市の将来都市構造」について
- ●医師の働き方改革と自治体病院の在り方について
- ●地域に見合った公共交通の将来（持続可能な地域公共交通を考える）について
- ●農業・農村をどう守るかについて

一般質問

1. 太閤山地区ニュータウンの現状認識と展望について

石田　勝志 議員

問①ⅰ▶ 太閤山地域における人口分布の現状認識について伺う。

答①ⅰ▶ 昭和40年代から全国で整備が進められた大規模なニュータウンでは、同世代の人々が同時期に入居したことにより、現在、一斉に高齢化を迎えている。太閤山３地区においても、同様の傾向であると認識している。

問①ⅱ▶ 人口密集地で買い物難民が発生した場合の対応について伺う。

答①ⅱ▶ 太閤山３地区においては、コミュニティバスを１日当たり、４路線で65便運行しており、高齢者等の交通弱者の交通手段としては、他の地域と比べて確保されていると考える。さらに、この地区では、現在、ＡＩオンデマンドバス「のるーと射水」の実証運行を行っており、利用者の約９割から高評価を得ていることから、本格導入した場合には、有効な支援策になると考えている。

その他の質問

- ●行政サービスの接遇について
- ●射水市技術系職員の技術・知識の維持、継承、キャリアパスについて

代表質問

【いみず志政会】
加治　宏規 議員

1 姉妹都市、友好都市との連携について

2 本市観光振興の推進について

問①▶ コロナ禍も落ち着き、姉妹都市や友好都市との交流について、今後どのように連携し、展開していくのか伺う。

答①▶ 来年度には、本市の友好都市である台湾士林区から訪問団をお迎えし、「友好提携５周年記念式典」の開催と獅子舞競演などの文化交流を行う予定としており、市民に広く台湾士林区をPRし、交流が広がる契機にしたいと考えている。今後も、各姉妹都市・友好都市との交流機会を増やすなど友好関係をさらに深め、将来的な交流人口の拡大による地域の賑わい創出につなげていく。

問②▶ 北陸デスティネーションキャンペーンに向けた11月のプレイベントにおいて実施された、旅行会社を対象とした内川ナイトクルーズツアーに係る体験者からの反応及び当該コースの商品化へのめどについて伺う。

答②▶ 参加者には、内川遊覧船のナイトクルーズと夜の獅子舞を鑑賞いただき、クロスベイ新湊での懇親会では、本市が誇る海の幸をご堪能いただくなど、本市の観光の魅力を凝縮してお伝えできたものと考えている。参加者からは、「ライトアップされた新湊大橋や帆船海王丸のロマンティックな雰囲気はもとより、LED装飾を施した観光船が大変美しい」「近代的な港湾から古いまちなみが残る内川に入っていく景観の変化が素晴らしい」など、高い評価をいただいた。更に、遊覧船を降りる川の駅新湊で行った夜の獅子舞については、演舞の様子や地域の方々のおもてなしに感動され、涙ぐむ参加者もおられるなど、改めて、先人から脈々と受け継がれてきた獅子舞の観光資源としての大きな可能性を再認識できた。こうした新たな観光コースのうち、内川のナイトクルーズについては、価格設定や最少催行人数など、商品化に向けた協議が整い、現在、獅子舞の旅行商品としての確立に向け、関係者との協議を重ねているところである。

その他の質問

●ベニズワイガニ漁の今後について　●新庄川橋架け替え進捗状況について
●文化財の保存について　●射水市消防団定員充足率について

一般質問

1 不登校児童生徒ならびに学校に行きづらさを感じている子どもたちについて

2 子どもたちの居場所について

3 学校体育施設開放事業における冬季の利用について

高畑　吉成 議員

問①▶ 不登校児童生徒数及び教室以外に登校している児童生徒数について伺う。

答①▶ 令和４年度の30日以上欠席している不登校児童生徒数は、小中学校171人であり、前年度から44人増加している。また、教室以外に登校している児童生徒数は、小中学校74人である。

問②ⅰ▶ 教育支援センターの朝の開設時間緩和と通所手段について、見解を伺う。

答②ⅰ▶ 個別相談を通じて、一人一人の要望や願いを聞きながら、支援体制を整えている。通所する児童生徒の大半は保護者等の送迎であるが、中学校卒業後を見据え、自力で通所することを目標に努力しているケースもあり、社会的自立への一歩と考えている。

問②ⅱ▶ 民間フリースクールの利用料や施設運営費に対する補助について伺う。

答②ⅱ▶ 国や県の動向を注視するとともに、他自治体の取組を参考に、研究していく。

問③▶ 条例の規定により、グラウンド夜間照明施設は12月から３月まで利用できないが、利便性の向上を図るため、利用期間を拡大してはどうかと考えるが、見解を伺う。

答③▶ 照明施設点検等の課題を整理するとともに、ニーズを踏まえながら検討したいと考える。

その他の質問

●小中学校におけるデジタル・ICT教育について
●子どもたちの学校内での生活について

代表質問

【自民議員会】
津田　信人 議員

1. これからの地域振興会について
2. 地方創生臨時交付金の適応性について
3. 射水市民病院の地域包括ケアに関する取組について
4. 富山米の新品種「富富富」について
5. 農業DX構想について

問①▶ 今後の地域振興会の方向性や在り方について、当局の見解を伺う。

答①▶ 多くの地域振興会において、運営の担い手不足に直面していると認識している。地域振興会が持続的に活動していくためには、地域における多様な人と人とをつなぐこと、現役世代や女性、学生や子どもたちも含めた幅広い層が地域活動に参画いただくことが極めて重要であると考えている。本市としても、地域振興会とともに、持続的・継続的な取組となるような仕組みづくりに取り組んでいく。

問②▶ 地方創生臨時交付金の適応性について伺う。

答②▶ 地方創生臨時交付金事業の必要性や、効果が十分発揮されているかなど、監査委員の立場から、定例監査において当該所管課から聞き取り、検証している。執行手続きや透明性も含め、適正に処理されており、市民の幅広い生活支援に充てられていると評価している。

問③▶ 射水市民病院の地域包括ケアシステムに関する取組について伺う。

答③▶ 診療所や介護施設等との連携など、これまでの取組を継続しながら、各種講座によるフレイル予防や特定保健指導の強化、地域包括病棟におけるリハビリテーション等の在宅復帰機能を強化することで、在宅療養患者に応じた医療・看護を提供し、住み慣れた地域で日常生活を営むことができるよう、当院の役割を果たしていく。

問④▶ 富山米の新品種「富富富」の普及拡大について、当局の見解を伺う。

答④▶ 現在、いみず野農業協同組合では、各乾燥調製施設の稼動状況を見極めながら、将来的に「富富富」の受入れ体制が構築できないか検討している。需要の動向を捉えながら、引き続き、県やいみず野農業協同組合と連携し、高品質な米の生産に取り組んでいく。

問⑤▶ 農業DX構想について、見解を伺う。

答⑤▶ ほ場の管理や栽培技術、経営情報等のアナログ情報をデジタル化してデータベースを構築することは、最初に取り組むべき最も重要な課題の一つと認識している。特に、地図情報のデジタル化は、新技術導入時の基礎データにもなることから、いみず野農業協同組合や射水市農業再生協議会とも議論を深めながら、その取組の支援について検討していく。

その他の質問

●新年度予算について　●病児保育事業の拡充について
●2023年産のコメの評価と農家支援について

一般質問

1. 幼・小・中学校の給食費の見直しについて

根木　武良 議員

問①▶ 幼・小・中学校の給食に関し、基本物資及び副食費の食材費が高騰しているが、安心・安全な食材を購入し、栄養価を維持していくことが肝要である。物価の高騰は、保護者の生活にも影響を及ぼしているものの、子どもたちに安心して食事をしてもらうことも大切である。これらを総合的に勘案し、憲法第26条に「義務教育は、これを無償とする」とされていることから、給食費を無償化すべきと考えるが、当局の見解を伺う。

答①▶ 本市の学校給食に必要な経費については、学校給食法の規定により、施設や人件費などは市が、給食の食材に係る実費は保護者が負担している。市立幼稚園についても、食事の提供に要する費用は、保護者が負担している。昨今の物価高騰に伴う食材の高騰相当分は、国の交付金を活用することで、保護者の負担が増加しないよう努めているところである。給食費の無償化については、多額の費用を要し、市費のみでの実施には課題が大きいと考えており、今後の国や県の動向を注視していく。

その他の質問

●65歳以上の重度心身障がい者の窓口負担について
●野手埋立処分所について

一般質問

1 物価高騰対策に係る補正予算について

2 ゼロカーボンシティに向けた取組について

不後　昇 議員

問①ⅰ▶ 物価高騰対策の補正予算にある低所得世帯支援について伺う。

答①ⅰ▶ 住民税非課税世帯物価高騰臨時給付金については、令和５年度分の住民税均等割が非課税である世帯を対象に、１世帯当たり７万円の臨時給付金を支給するものである。支給方法等については、できるだけ簡素かつ迅速な方法で、対象世帯には、来年の早期に申請書を送付できるよう努めていく。

問①ⅱ▶ 重点支援地方交付金の増額分の活用について伺う。

答①ⅱ▶ 推奨事業メニュー分の活用については、今後の物価高騰の状況を勘案しながら、その影響を大きく受ける生活者や事業者の支援に活用していきたいと考えている。

問②▶ ゼロカーボンシティに向けた取組について伺う。

答②▶ 議員ご提案のEV導入に対する支援制度をはじめとする地球温暖化対策の継続的な取組については、現在策定中の地球温暖化対策実行計画（区域施策編）の策定検討会において協議していく。

その他の質問
- ●認知症基本法に規定されている市町村の推進計画の策定について
- ●本市における地域共生社会を支える高齢者活躍の取組について

一般質問

1 献血・骨髄バンクドナーについて

2 「イタリアの食」魅力フェアについて

3 射水市都市計画マスタープランについて

西元　勇司 議員

問①▶ 富山県内では８自治体が実施する骨髄バンクドナーの助成金制度について、本市も導入すべきと考えるが、当局の見解を伺う。

答①▶ 本市においても、骨髄バンクドナー助成金制度導入の必要性は認識しており、今後検討を進めていく。

問②▶ ベイエリア観光を通じた、イタリアの自治体との北陸地域初となる姉妹都市の新規提携と交流促進を提案するが、当局の見解を伺う。

答②▶ 都市間交流の拡充については、議員からご紹介のあったイタリアの都市も含め、交流の広がりにつながる機会や取組を探りながら、検討していく。

問③▶ バリアフリー化とユニバーサルデザインの観点に基づく、越中大門駅の南北自由往来通路と北口開設を提案するが、当局の見解を伺う。

答③▶ 越中大門駅北口開設については、今後の土地利用の在り方や開発費用、地域要望、利用者の意向等も考慮し、総合的に検討していく必要があると考えている。

一般質問

1 市民の「移動の足」について

2 スマート農業「RTK」（リアルタイムキネマティック）の取組について

金　賢志 議員

問①▶ ライドシェア導入について、見解を伺う。

答①▶ 現在、国では、地域交通の担い手不足や移動の足の確保といった深刻な社会問題を解決するため、一般のドライバーが自家用車で有償の移動サービスを提供する新しい移動手段、いわゆる「ライドシェア」について議論が進められている。引き続き、国の動向を注視しながら、来年度策定予定の地域公共交通計画に係る地域公共交通活性化協議会で検討していく。

問②▶ スマート農業「RTK」の取組について伺う。

答②▶ RTK（相対測位）は、農業機械の高精度な自動運転のためのネットワークシステムとして実装され、将来的には遠隔監視による完全無人化につながる技術とされている。現段階では、コスト面等の課題があることから、大区画化されたほ場で機械の性能を最大限発揮できる場合において、費用対効果を検証した上で導入を検討すべきと考えており、その導入に当たっては、国の補助事業等を活用することなどを視野に入れ、関係機関と連携を図り、支援を検討していく。

その他の質問
- ●農業施策について
- ●観光事業の取組について

一般質問

1 本市地域交通の将来像について

寺岡　伸清 議員

問①▶ 本市地域交通の将来像に関し、実証運行中のＡＩオンデマンドバス「のるーと射水」と既存のコミュニティバスとの統合への展望、また、議論が始まった「ライドシェア」に市としてどう向き合っていくかも踏まえて、見解を伺う。

答①▶ 「のるーと射水」は、約９割の利用者から満足との評価を受けており、その本格運行については、実証運行の結果を分析、検証をした上で、協議していく。なお、本格運行に当たっては、当該運行地域における現行のコミュニティバスの在り方も検討していく必要があると考えており、効率的で利便性の高い持続可能な地域公共交通となるよう取り組んでいく。また、ライドシェア導入については、様々な課題や意見があり、具体的な国の制度設計は示されていないが、国の動向を注視しながら検討していく。

その他の質問
- ●企業誘致の新たな取組について
- ●市内小学校の統廃合に向けた取組について

一般質問

1 認知症基本法に伴う認知症施策推進計画について

2 富山新港花火大会の存続につながる財源確保について

杉浦　実 議員

問①ⅰ▶ 認知症施策推進計画の策定について伺う。

答①ⅰ▶ 令和７年度に予定している、本市の地域福祉計画である「いみず地域共生プラン」の中間見直しに併せ、一体的な策定を検討している。計画策定の際には、認知症の人やその家族にアンケート調査等を実施するなど、意見を反映させていく。

問①ⅱ▶ 今後の認知症施策について伺う。

答①ⅱ▶ 国の認知症施策推進大綱に沿って、「予防」と「共生」の観点から、施策の推進に努めている。今後も、射水市高齢者保健福祉計画・第９期介護保険事業計画に具体的な施策を位置付け、認知症の人とその家族への支援の強化に取り組むこととしている。

問②▶ 資金難のため中止になった花火大会が全国で数多くある。富山新港花火大会の存続に向けた財源の確保について、当局の見解を伺う。

答②▶ 来年度の花火大会に向け、クラウドファンディングや有料観覧席の拡充を含め、財源確保に向けた様々な可能性を検討しているところであり、今月末に開催する実行委員会において協議し、決定したいと考えている。

一般質問

1 「いみず学生アイデアコンテスト」について

2 小学校教育について

3 本市の国際交流について

大垣　友和 議員

問①▶ 「いみず学生アイデアコンテスト」の現況及び今後の方向性について伺う。

答①▶ 事前にオリエンテーションを開催するなど実施方法を見直し、課題とのマッチング向上を図っている。今後は、行政と企業が学生アイデアを活用できる仕組みを検討するなど、学生の活躍の場を広げ、まちづくりに参画する機会の充実を図っていく。

問②ⅰ▶ 通知表の在り方と健やかな成長との関係性について、見解を伺う。

答②ⅰ▶ 通知表を通して、次の学習への意欲を高めたり、次の学習の目当てを明確にできると考えているほか、子どもの学校生活の状況について、日ごろの頑張りを文章で示すことで、子どもの自己肯定感を高めるよう努めている。

問②ⅱ▶ 教育の多様化への対応について伺う。

答②ⅱ▶ 児童生徒の実態に合わせて、補充的な学習を個に応じて行っているほか、「AIドリル」を活用し、個別最適な学びの充実に向けて取り組んでいる。子どもたち一人ひとりが、自分に合った学び方を身に付け、学んだことを活用して課題解決ができるよう、生きる力を培っていく。

問③▶ 本市の国際交流について伺う。

答③▶ 国際交流は、観光・経済分野の発展はもとより、グローバルな人材育成にもつながると考えられることから、国際交流事業補助制度の活用について周知を図るとともに、引き続き、射水市民国際交流協会等と連携して取り組んでいく。

一般質問

1 防災士の地域連携について
2 パークゴルフの里射水について
3 スポーツツーリズムの推進について
4 消防団員の準中型自動車免許取得助成制度の新設について

西尾　哲 議員

問①▶ 当局が防災士に期待することについて伺う。

答①▶ 地域の防災活動の円滑な実施や被害軽減につながる活動での活躍のほか、平常時においては、地区防災計画の作成にも積極的に関わっていただくことなどを期待している。

問②▶ パークゴルフの里射水として、これまでの経緯や沿革等を展示する室を設置してはどうかと考えるが、見解を伺う。

答②▶ 展示資料の状況確認や、展示場所、スペースの確保等の課題について、パークゴルフ協会と相談していく。

問③▶ スポーツツーリズムの推進について伺う。

答③▶ 大会や合宿誘致に当たっては、スポーツ施設や宿泊施設等、必要な情報をワンストップで提供することが重要であると考えており、スポーツ施設をはじめ、宿泊、飲食、観光、交通等の関係事業者との連携体制の構築について、引き続き検討を進めていく。

問④▶ 消防団員の準中型自動車免許取得助成の新設について伺う。

答④▶ 制度の内容や開始時期について、検討を進めているところである。

その他の質問
- 太閤山ランド魅力向上・活用推進について
- スポーツに関する事務の市長部局への移管について

一般質問

1 特殊詐欺等について

山本　満夫 議員

問①ⅰ▶ 特殊詐欺の被害状況に関し、どのように捉えているのか伺う。

答①ⅰ▶ 富山県の特殊詐欺の認知件数は増加傾向にあると認識しており、また、本市消費生活センターにおいても、還付金詐欺や架空請求詐欺に関する相談を多数受け付けている。特殊詐欺は、犯行手口の巧妙化・多様化が進んでおり、市民の平穏な生活をおびやかす悪質な犯罪で大きな社会問題となっていることから、被害防止の対策が重要である。

問①ⅱ▶ 警察と当局はどのように連携しているのか伺う。

答①ⅱ▶ 射水警察署とは、特殊詐欺等に関する情報を共有しており、警察から情報の提供を受けるだけでなく、市に寄せられた被害情報等についても、警察へ情報提供している。本市では、警察から提供を受けた被害状況や手口に関する情報を元に、広報媒体を通じた情報発信を実施しており、今後も、警察や関係団体等と連携を密にしていく。

その他の質問
- 射水市内のコロナ後の中小企業・個人事業主の状況及び支援策について

決算特別委員会

議案2件及び認定7件を可決（認定）すべきものとしました。

▼【介護保険事業特別会計】

問 介護サービス相談員のオンライン面会について伺う。

答 介護サービス相談員は12人で、相談者数は20施設で延べ180人であった。今年度からは、施設の受入れ状況も緩和され、10月から施設への訪問を再開し、利用者の不安解消に努めている。

問 介護に従事する人手不足の対策について伺う。

答 2035年には、団塊の世代が85歳を超えることとなる。それに向け、施設におけるICT化や介護ロボット、外国人の人材活用など、次期介護計画の中で検討していきたい。

▼【病院事業会計】

問 業績を維持するための経営戦略について伺う。

答 救急搬送や紹介患者を積極的に受け入れるとともに、回復期機能を有する地域包括ケア病棟を急性期患者の受入れ先として有効活用するなど、病床稼働率の向上を図ることで、収益の確保に努めていきたい。

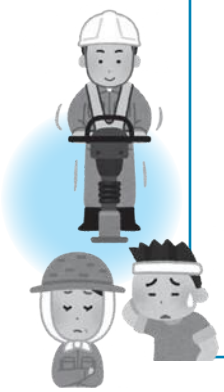
予算特別委員会

令和5年度 射水市一般会計補正予算（第6号）（議案第56号）

歳入歳出にそれぞれ10億8900万円を追加し、総額を419億5458万8千円とするもの

主な事業

- ○住民税非課税世帯物価高騰臨時給付金
- ○子育て世帯への臨時特別給付金
- ○主穀作経営体燃油価格高騰対策補助金
- ○農業共同利用施設燃油価格高騰対策補助金
- ○農業共同利用施設等電気料金高騰対策補助金
- ○漁業燃油価格高騰対策補助金
- ○漁業共同利用施設電気料金高騰対策補助金
- ○和田川浸水対策基本方針策定支援業務
- ○道路災害復旧工事



質問者及び質問項目

12月12日（説明）

日程	質問者	主な質問項目
12月20日	西元　勇司 委員	①土地売払収入について　②二十歳のつどい式典費について　③一般競争入札について　④市役所本庁舎、大島分庁舎の玄関口について　⑤自転車賠償責任保険の助成金について
	金　賢志 委員	①給食調理業務委託に伴う環境整備等について　②「子育てするなら射水市で」について
	大垣　友和 委員	①児童福祉費について　②消防団をはじめとする災害時の体制について
	高橋　久和 委員	①不動産売払収入について　②総務費寄附金について　③和田川浸水対策基本方針策定支援業務について
	石田　勝志 委員	①松くい虫被害木伐採駆除業務委託について　②福祉避難所の確保・運営ガイドラインの改定（令和３年５月）について　③家族介護者への支援について
	西尾　哲 委員	①不登校、ひきこもりについて　②観光・定住課、射水市観光協会について　③第２次射水市スポーツ推進計画について　④避難所の防寒対策について
	根木　武良 委員	①会計年度任用職員について　②和田川の水門の電動化・遠距離操作化について　③マイナ保険証について
	寺岡　伸清 委員	①サウンディング型市場調査について
	加治　宏規 委員	①子ども及び妊産婦医療助成費について　②パークゴルフ場の維持管理について
	吉野　省三 委員	①商工振興費について　②和田川浸水対策基本方針策定支援業務について　③道路災害復旧工事について　④一般県道姫野能町線について　⑤本開発地区の公園について　⑥スポーツや文化的コンクールにおける激励金について
	高畑　吉成 委員	①市と県が行う小中学校の相談支援体制について　②幼小中の学校給食の状況等について
12月21日	中川　一夫 委員	①12月補正予算について　②市政全般について　③その他
	不後　昇 委員	①日本語教室の取組について　②災害対策について
	山崎　晋次 委員	①創業支援事業補助金について　②冬期間前の道路維持修繕について　③地域ぐるみ除排雪について　④すし職人・魚職人の育成について　⑤住みよさランキングについて　⑥あいの風とやま鉄道以南の企業進出の状況等について　⑦小杉駅周辺の将来のあるべき姿について

港湾振興特別委員会

所管事務について2件の報告を受けました。

【報告事項（2件）の内容】

▼伏木富山港（新湊地区）のコンテナ取扱量について

・コロナ禍で落ち込んだコンテナ取扱本数は徐々に回復しつつあり、令和5年10月末現在で、対前年同期比で、ほぼ横ばいとなっている。

▼富山新港東埋立地Cポンドにおけるダイオキシン類の測定結果について

・令和5年5月に測定した結果について、県富山新港管理局から、全ての箇所で環境基準を満たしているとの報告があった。

議会改革特別委員会

今後、この委員会で検討していく課題について、次のとおり確認しました。

・議員定数、議員報酬、政務活動費及び費用弁償について、今後も引き続き協議していく。

・議員の厚生年金への加入を求める意見書について、令和6年3月までを目途として、意見書提出の是非を含めた各委員の意見を取りまとめる。

・地方自治法等の一部改正に伴う議員の請負規制緩和に係る対応について、令和6年3月までを目途として、協議していく。

総務文教常任委員会

議案5件を可決すべきものとしました。
所管事務について5件の報告を受けました。

第2期射水市教育振興基本計画（素案）について

教育振興基本計画は、本市が進める教育施策の基本的方向性や目標を示し、教育の総合的かつ計画的な推進を図るための指針となるものである。本市においては、平成27年2月に策定し、毎年度、その成果等に係る点検・評価を実施してきたが、この間、教育を取り巻く現状や環境が変化していること、さらには、第3次射水市総合計画の理念や方向性等との整合性を図るため、現行計画を1年前倒しし、第2期計画を策定するもの。

問 **5つの基本目標の前段部に、「将来を担う子どもたちをはじめ、市民一人ひとりが、それぞれの個性や価値観を尊重し、違いを認め合い、自分らしい「しあわせ」を実現できる教育を目指します」とあるが、そういった教育のため、どういったことを実践しているのか伺う。**

答 学校教育活動としては、教科等の授業において、子どもたちが自分で考えることはもちろん、友達と対話し、関わり合いながら物事を考えていくという経験を非常に大事にしており、今回の新しい計画においても、そういった経験を積み重ねていけるような取組を進めていく。

民生病院常任委員会

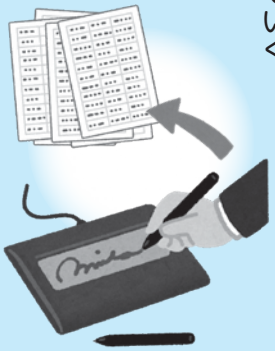
議案7件を可決すべきものとしました。
所管事務について9件の報告を受けました。

「書かない窓口（スマート窓口）」の運用開始について

届出書・申請書を自動作成する「窓口支援システム」の導入により、住所変更の事前申請、住民記録システムとの相互連携が可能になるなど、「書かない窓口（スマート窓口）」を実現し、来庁者及び職員の負担の軽減、所要時間の短縮等市民の利便性の向上を図るもの。

問 **来庁者への聞き取り等により、必要な書類が作成され、一括で署名できるということか。**

答 タブレットにタッチペンで署名することによって、必要な書類に全て署名される。令和6年2月からの運用を目指し、1月から試行していく。



産業建設常任委員会

議案2件を可決すべきものとしました。
所管事務について5件の報告を受けました。

第3次射水市中小企業振興計画（素案）について

本市では、平成31年3月に「第2次射水市中小企業振興計画」を策定し、活力ある商工業の振興に向けた取組を推進してきたが、新型コロナウイルス感染症の拡大により、働き方が多様化したほか、企業のDX化の推進等、急速に変化する社会・経済環境に対応し、産業振興を推進することが求められている。

このことから、既存の施策を検証するとともに、時代の変化等を踏まえた新たな施策を打ち出し、持続的な中小企業振興を推進するため、本計画を策定するもの。

問 **人口の推移を見ると、特に20代女性の流出が多い。仕事や地域に魅力があまり感じられないという調査結果も出ている。このような課題の対策について伺う。**

答 子育て支援や女性の働きやすい職場づくりなど、市として総合的に取り組む必要がある。その中でも、求人採用動画への支援や、女性が働きたいと思うような企業の誘致に対する助成制度などについて、この計画内で取り組んでいきたい。

12月定例会

《会 期》12月4日～22日／19日間

議決結果一覧表

[議　案]

番 号	件　　名	結 果
第52号	令和４年度射水市水道事業会計未処分利益剰余金の処分について	可決
第53号	令和４年度射水市下水道事業会計未処分利益剰余金の処分について	可決
第56号	令和５年度射水市一般会計補正予算（第６号）	可決
第57号	令和５年度射水市国民健康保険事業特別会計補正予算（第２号）	可決
第58号	令和５年度射水市介護保険事業特別会計補正予算（第２号）	可決
第59号	令和５年度射水市水道事業会計補正予算（第２号）	可決
第60号	令和５年度射水市下水道事業会計補正予算（第２号）	可決
第61号	令和５年度射水市病院事業会計補正予算（第２号）	可決
第62号	射水市職員の給与に関する条例等の一部改正について	可決
第63号	射水市会計年度任用職員の給与等に関する条例の一部改正について	可決
第64号	射水市特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例の一部改正について	可決
第65号	射水市火災予防条例の一部改正について	可決
第66号	不動産の処分について	可決
第67号	不動産の処分について	可決
第68号	指定管理者の指定について（市営駐車場）	可決
第69号	指定管理者の指定について（フラワーパーク沖塚原）	可決
第70号	指定管理者の指定について（いみず市民交流プラザ）	可決
第71号	射水市手数料条例の一部改正について	可決
第72号	射水市国民健康保険税条例の一部改正について	可決

[報　告]

番 号	件　　名	結 果
第16号	専決処分の報告について	－

[認　定]

番 号	件　　名	結 果
第１号	令和４年度射水市一般会計歳入歳出決算認定について	認定
第２号	令和４年度射水市国民健康保険事業特別会計歳入歳出決算認定について	認定
第３号	令和４年度射水市後期高齢者医療事業特別会計歳入歳出決算認定について	認定
第４号	令和４年度射水市介護保険事業特別会計歳入歳出決算認定について	認定
第５号	令和４年度射水市水道事業会計決算認定について	認定
第６号	令和４年度射水市下水道事業会計決算認定について	認定
第７号	令和４年度射水市病院事業会計決算認定について	認定

[同　意]

番 号	件　　名	結 果
第27号	教育委員会委員の任命について	同意
第28号	公平委員会委員の選任について	同意
第29～31号	固定資産評価審査委員会委員の選任について	同意

[選　挙]

番 号	件　　名	結 果
第５号	庄川水害予防組合議会議員の選挙	西元勇司 金　賢志 加治宏規 奈田安弘 高橋久和 西本邦郎 表　昌彦 当　選

[その他]

番 号	件　　名	結 果
	議会運営委員会、各常任委員会及び議会改革特別委員会の閉会中の継続審査	可決

《議員別賛否一覧／賛成と反対の双方があった議案等について掲載》

番　号	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	議決結果
議員名	石田勝志	大垣友和	西元勇司	西尾哲	金賢志	杉浦実	山本満夫	寺岡伸清	呉松福一	加治宏規	高畑吉成	根木武良	欠員	中川一夫	中村文隆	山崎晋次	不後昇	吉野省三	津田信人	堀義治	奈田安弘	高橋久和	
議案第52号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	－	○	※	○	○	○	○	○	○	○	可決
議案第53号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×		○		○	○	○	○	○	○	○	可決
議案第56号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×		○		○	○	○	○	○	○	○	可決
認定第１号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×		○		○	○	○	○	○	○	○	認定
認定第２号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×		○		○	○	○	○	○	○	○	認定
認定第３号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×		○		○	○	○	○	○	○	○	認定

○…賛成　×…反対　※…議長は採決に加わりません。

新しい委員会構成

議会運営委員会（8人）	委員長	堀　義治	副委員長	加治　宏規
	委　員	石田　勝志	委　員	大垣　友和
	委　員	寺岡　伸清	委　員	吉野　省三
	委　員	津田　信人	委　員	高橋　久和
総務文教常任委員会（7人）	委員長	加治　宏規	副委員長	山本　満夫
	委　員	石田　勝志	委　員	杉浦　実
	委　員	呉松　福一	委　員	堀　義治
	委　員	奈田　安弘		
民生病院常任委員会（7人）	委員長	吉野　省三	副委員長	寺岡　伸清
	委　員	高畑　吉成	委　員	根木　武良
	委　員	中川　一夫	委　員	山崎　晋次
	委　員	高橋　久和		

産業建設常任委員会（7人）	委員長	津田　信人	副委員長	金　賢志
	委　員	大垣　友和	委　員	西元　勇司
	委　員	西尾　哲	委　員	中村　文隆
	委　員	不後　昇		
予算特別委員会	委員長	奈田　安弘	副委員長	杉浦　実
	委　員	議長を除く全議員		
港湾振興特別委員会	委員長	高畑　吉成	副委員長	西尾　哲
	委　員	議長を除く全議員		
議会改革特別委員会	委員長	高橋　久和	副委員長	西元　勇司
	委　員	議長を除く全議員		

広報委員が新しくなりました

[委 員 長] 堀　義治
[副委員長] 加治　宏規
[委　　員] 高畑　吉成、中村　文隆
山崎　晋次、吉野　省三
津田　信人、奈田　安弘
高橋　久和　（9人）

NEW FACE

いみず市議会だよりの表紙写真を募集します！

射水市議会では、市民の皆さんに親しまれる市議会だよりづくりの一環として、表紙写真を募集します。

【募集テーマ】 射水市の風景、行事・イベント、人物など
【応募規定】
- 応募者本人が射水市内において概ね１年以内に撮影したもの
- デジタルデータJPEG形式（概ね４MB以上10MB未満）の横長写真で提供できるもの
- 未発表のもの、また、被写体が人物や個人の所有物の場合は承諾を得たもの

【応募資格】 射水市に在住、在勤または在学の方
【応募期間】 令和６年３月25日（月）まで（※必着）
【選考方法】 市議会広報委員会で応募写真を審査します。
【掲　　載】 市議会広報委員会で選出された写真を表紙に採用します。採用された写真には、応募者の氏名、写真のタイトル及び撮影場所を掲載します。（氏名の掲載を希望しないことも可）なお、使用に当たっては、トリミングなどの画像処理をすることがあります。
【そ の 他】 応募方法などの詳細については、市議会ホームページでご確認ください。

３月定例会は、２月28日（水）から始まります

会期日程は、決まり次第ホームページに掲載します。

詳しくは、議事調査課（TEL 51-6610）までお問い合わせください。

傍聴者数

11月臨時会	12月定例会
本会議 … ３人	本会議 …19人
委員会 … ６人	委員会 …22人
合計９人	合計41人